

1 国語に関する調査

【特長】

- 文章の全体と部分との関係に注意しながら、主張と例示との関係を捉える問題ができている。
- 目的や意図に応じて、集めた材料を整理し、伝えたいことを明確にする問題の正答率が他の問題に比べて高い。授業の中で文章の読み取りを丁寧に行った成果だと考えられる。

【課題】

- 目的に応じて必要な情報に着目して要約することに課題が見られる。様々な文章に触れ、文章の内容や筆者の主張を正確に読み取る学習にさらに取り組む必要がある。
- 表現の効果を考えて描写するなど、自分の考えを工夫して書くことに課題が見られる。作文課題に苦手意識を持っている生徒が多いため、短い文章からでも自分の考えを文章に表現する学習に取り組み、自分の考えを相手に伝える力を育てていく。

2 数学に関する調査

【特長】

- データの活用の問題については正答率が昨年より高く、よくできている。ICTを活用した授業が実を結んだと考えられる。
- 知識、技能の観点においても昨年度より正答率が高くなった。基本問題に取り組む時間やAI教材を活用して学習に取り組む時間を設定したことによる成果だと考えられる。

【課題】

- 図形の単元について、筋道を立てて問題を解いていくことや証明をしていくことに課題が見られる。問題を解く際に、自分の言葉でまとめたり、共有したりしていく学習活動を取り入れていく。
- 記述式の問題は無解答の生徒が多くいた。問題文から情報を読み取り、考えることが苦手な生徒が多いことがうかがえる。今後、たくさんの文章問題に触れ、自分で情報を読み取る力を養う学習に、さらに取り組む必要がある。

3 生徒質問紙の結果より

【特長】

- ICT 機器を使用した学習において、自分のペースで理解しながら学習を進めることができる、分からないことがあったときに調べることができる、友達と協力しながら学習を進めることができる等と考えている生徒が多い。総合的な学習の探究サイクルに生かす等、ICT 機器を上手に活用していると考えられる。
- 家庭でタブレット等を勉強のために使っている時間が長い一方、スマートフォンで SNS や動画視聴などを行っている時間は短い。

【課題】

- 4月という調査時期の関係もあるかもしれないが、友達関係に課題を感じたり、学校に行くのが楽しいと思えなかったりする生徒が一定数いる。学級や学年において、豊かな人間関係づくりができるよう、グループ活動などの実践を積み重ねていく。
- 人の役に立つ人間になりたいと考えている生徒が多い一方、将来の夢や目標を具体的に描けていない生徒も多い。学年・学級におけるキャリア教育・相談の充実を図りたい。

授業・学校生活の充実に向けた取組

- 現3年生は入学時から ICT 機器の活用を進め、今回の調査でも一定の成果が見られた。今後も学校全体で生成 AI を含む ICT の活用を研究していく。さらに、各教科、生徒たちが「好きだ」と思える授業づくりを目指す。
- それぞれの生徒の活躍の場を増やし、よいところを認め、自己肯定感を高めていく。
- 生徒と教員のつながりを、日々の学校生活や行事などを通して一層深め、悩みなども相談できる関係性を築いていく。
- 各教科の授業や総合的な学習の時間、さらに校内外の行事などを通し、命の大切さに加え、将来の夢や目標を持ち、それに向かって努力する大切さを伝えていく。

ご家庭で取り組んでいただきたいこと・地域の方に知っておいていただきたいこと

- 朝食を毎日食べている生徒が多いという良い調査結果が出ています。充実した学校生活を送るための基本となる健康的な生活習慣づくりに、これからもご協力ください。
- 学校のクロムブックを家庭学習で利用する場面が増えていきます。生徒のスマートフォンの所持率も高いので、ルール・マナーを守った ICT 機器の利用を引き続きご指導ください。
- コロナ禍の時期に休止していた職場体験や上級学校訪問などを再開させています。地域の皆様にお世話になることが増えますが、生徒の夢や目標を育む貴重な機会となりますので、どうぞよろしくお願いいたします。